

# Topics 福島

2021.5.12 No.103

# FaCE!S

フェイス



Fukushima Comprehensive Environmental Information Site

福島総合環境情報サイト

URL:<https://fukushima.jaea.go.jp/ceis/>

## 調査研究成果を分かり易く発信する取組み

### 最新の知見を取込み、親しみやすいデザインなどにリニューアルへ

日本原子力研究開発機構(以下「原子力機構」という。)福島研究開発部門の廃炉環境国際共同研究センター(CLADS)は、環境回復に関する調査研究成果を解説とともに取りまとめた「福島総合環境情報サイト(略称:FaCE!S(フェイス))」を大幅にリニューアルし、2021年3月31日に福島研究開発部門ホームページに掲載しました。

FaCE!Sは、

- ① 調査や解析で分かったことをQ&A形式で紹介する「根拠情報 Q&A サイト」
- ② これまでに得られた様々な観測データのデータベースである

「放射性物質モニタリングデータの情報公開サイト」

の2つのサイトから構成されており、今般のリニューアルは、最新の知見を取り入れるとともに、一般の方々などのご意見も踏まえて、より親しみやすく、かつ分かり易く表現することを念頭に行いました。

ここでは、リニューアルの内容について紹介します。

### ◆「根拠情報 Q&A サイト」

どのような情報が掲載されているのかを直感的に表現するイラストで紹介しています。一般の方々が知りたい情報として「線量」、「河川」、「測定」などの項目を吹き出しにし、それらをクリックすると「放射性物質・空間線量率」、「放射性物質の動き-河川」や「被ばく線量評価・除染」など 5 つの Q&A サイトにジャンプして説明をご覧いただけるように工夫しました。研究によって得られた最新の知見は、論文や報告書、学会発表などしっかりとした根拠を担保に客観的に記載してあります。それぞれの Q&A サイトの入り口には特に分かり易い Q を表示しており、リンクを深掘りしていけば論文などにもたどり着き、より専門性の高い内容に触れることができます。



図1 リニューアルした根拠情報 Q&A サイト

### ◆「放射性物質モニタリングデータの情報公開サイト」

原子力規制庁、福島県等が公開している東京電力福島第一原子力発電所(以下「1F」という。)事故に起因する福島県及び近隣県における空間線量率の測定結果、陸域土壌(土壌表面及び土中)、海域(海水、海底土)及び河川(河川水、河底土)・地下水、食品(農・林・畜・水産物など)などの放射性物質濃度の分析結果を収集し、それら大量のデータを「見える化」して、一般の方々が直接的に状況把握できるよう公開して

います。また、放射性物質の分布や経時変化の解析を支援するため、それらに影響を与える標高、土壌、植生、土地利用、積雪などの地理的情報も併せて公開しています。

これまでは、国、県などの調査毎にデータを表示していましたが、調査項目やデータなど複数の情報(例: 定点測定や走行サーベイデータなど)を同時に表示するとともに、使用する方々が、場所を選択・検索したり、図を拡大・縮小することもできる表示に改良を進めているところです。

このサイトのリニューアル版は、現在、試験的に公開していますが、2021年10月に本格運用を開始する予定です(現サイトトップページから閲覧可能)。

**放射性物質モニタリングデータの情報公開サイト**

日本原子力研究開発機構(JAEA)は、原子力規制庁、福島県等が公開している東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する福島県及び近隣県における空間線量率の測定結果、陸域土壌(土壌表面及び土中)、海域(海水、海底土)及び河川(河川水、河底土)・地下水、食品(農・林・畜・水産物等)などの放射性物質濃度の分析結果を収集し、それら大量のデータを見るに化し利用者が直感的に状況把握できるよう公開しています。また、放射性物質の分布や経時変化の解析を支援するため、それらに影響を与える標高、土壌、植生、土地利用、積雪等の地理的情報も併せて公開いたしました。

**放射性物質モニタリングデータ**

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴って大気中に放出された放射性物質の拡散状況を調査するため、国、地方自治体、電力会社とめた蓄積・分析データです。

- 空間線量率**

対象とする空間の単位時間当たりの放射線量である空間線量率(空気吸収線量率(nGy/h)及び周辺線量当量率(μSv/h))測定結果です。空間線量率は放射性物質の漏出などの異常が発生していないか監視するために、原子力施設の周辺では常時測定されています。

  - ▶ サーベイメータ(周辺線量当量率)
  - ▶ 走行サーベイ
  - ▶ 航空機モニタリング【空間線量率】
  - ▶ モニタリングポスト・リアルタイム線量計
- 陸水関連の状況**

河川・湖沼水、浮遊砂、河底土、水生生物、森林内樹幹液等の放射性物質濃度の調査結果です。

  - ▶ 河川、湖沼、森林内樹幹液等
  - ▶ 陸水の水生生物
- 大気の状態**

大気中に浮遊している塵や埃(大気浮遊じん)に含まれる放射性物質濃度の調査結果です。

  - ▶ ダスト

**福島県による環境放射線モニタリング・メッシュ調査**  
— H23年度 - H29年度

実施機関: 原子力規制庁 福島県  
実施期間: H23年度 - H29年度  
概要: 本データは、福島県による環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果(平成23年度から平成29年度)をもとに作成した。

データ収集状況

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2011												
2012												
2013												
2014												
2015												
2016												
2017												

**放射性物質の分布状況等調査による空間線量率測定**  
— H23年度 - H29年度

実施機関: 文部科学省 原子力規制庁  
実施期間: H23年度 - H29年度  
概要: 文部科学省、原子力規制庁による放射性物質の分布状況等調査において、H23年度からH29年度にかけて実施された、NaI(Tl)シンチレーション式又は希薄積算サーベイメータを使用した空間線量率の測定結果を基に作成した。

データ収集状況

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2011												
2012												
2013												
2014												
2015												
2016												
2017												

**福島県環境放射線モニタリング調査(温泉地) 概要**  
— H23.7~ H29.6

事前に作成された図のみ表示

福島県の事業 A データ

規制庁の事業 B データ

福島県の事業 C データ

図2 放射性物質モニタリングデータの情報公開サイト

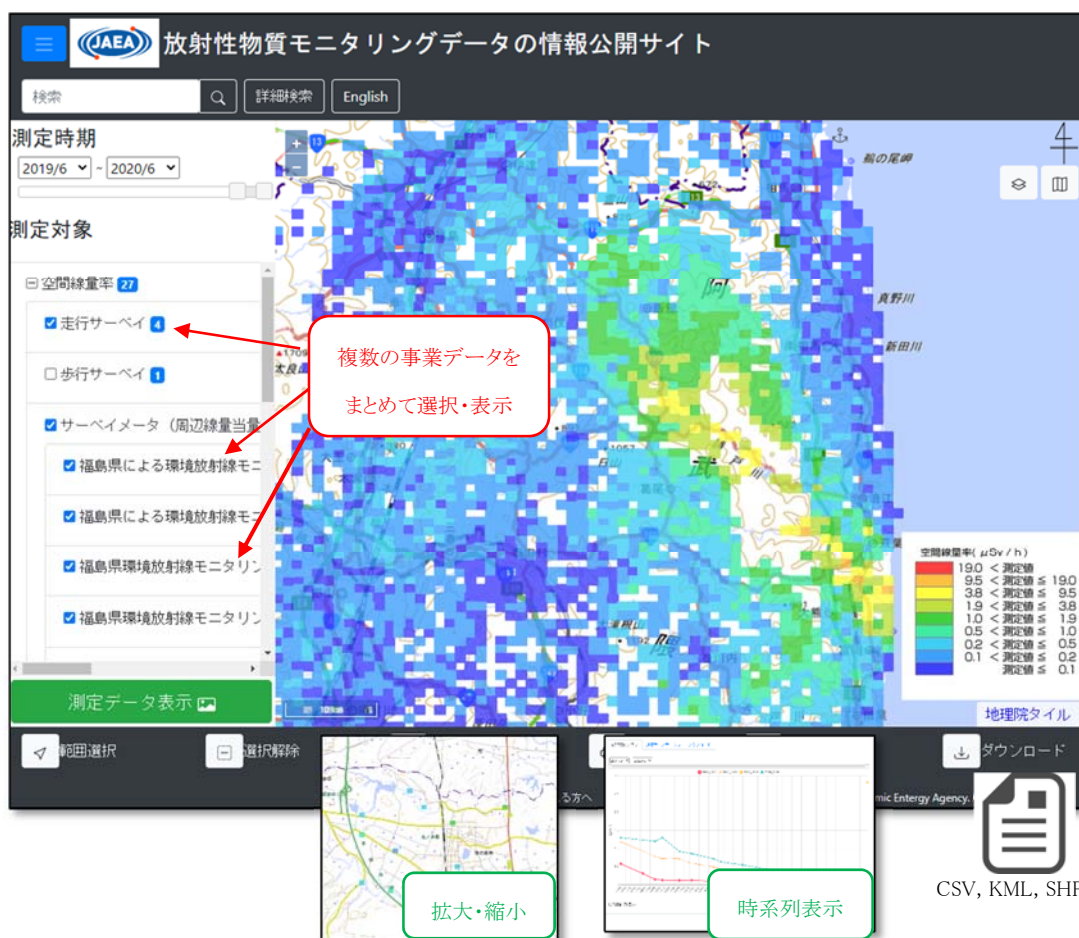


図3 リニューアル中の放射性物質モニタリングデータの情報公開サイト

#### ◆ 今後の計画

分かり易く、親しみやすい、かつ利用し易いサイトを目指し、引き続き最新の研究開発成果やデータを取り込むとともに、原子力機構の1F 廃炉への貢献をより一層図るため、これまでの環境動態研究や環境モニタリングなど環境回復に関する調査研究開発だけではなく、廃炉技術についても幅広く掲載し、提供する情報の中身の充実を図る考えです。

#### Topics 福島 No.103

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 (Japan Atomic Energy Agency)  
福島研究開発部門 福島事業管理部

〒970-8026 福島県いわき市平字大町7-1 平セントラルビル8階  
TEL : 0246-35-7650 FAX : 0246-24-4031  
HP : <https://fukushima.jaea.go.jp/>

